

令和8年度 学校経営計画書

総社市立阿曾小学校 校長 池上 宗一郎

1 そうじゃ教育大綱

○総社を愛す子供

○心優しい子供

○礼儀正しい子供

2 本校のミッション(使命、存在意義)

- 児童が自分の考えをもち、伝え合いながら学ぶ児童を育成する。
- 自問しながら自己決定し、行動に移すことができる「人間力」を育成する。
- 地域の人、もの、こととかかわる中で総社や阿曾を知り、郷土を愛し、誇れる児童を育成する。

3 内外の環境分析(SWOT 分析)

内部環境	外部環境
<p>○強み(Strong)</p> <ul style="list-style-type: none">・児童は、純朴で明るく、興味・関心をもっていることや体験的な活動に進んで取り組むことができる。・全教職員が、全児童を指導・支援する意識を持っており、きめ細かな教育活動ができる。・縦割り班活動、自問掃除など、6年生が手本となるよい伝統がある。	<p>○機会(Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者や地域は、学校の教育活動に協力的であり、学校と共に子どもを育てるという意識が高い。・祖父母からの支援を受けられる家庭が多い。・鬼ノ城をはじめ豊かな自然や文化財や優れた人材に恵まれている。
<p>○弱み(Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none">・単学級のため、児童の人間関係が固定化しやすい。・テレビやゲーム等、メディア使用のきまりが守れない児童が多い。・学習の定着や深化が不十分、学習に集中することが難しい等、個別の支援を要する児童が各学年に在籍する。	<p>○脅威(Threat)</p> <ul style="list-style-type: none">・通学路が狭く、危険度が高い。物流倉庫の工事が進み工事車両の往来が多い。・児童への関わり方について、支援が必要な家庭がある。

4 ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン(将来像、めざす姿)

【CS 共育目標】 ふるさと愛 夢・チャレンジ 自主・自立 思いやり・協力

【学校教育目標】 「ふるさとを愛し、心身ともに健康で豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成を図る」

めざす子ども像 ○地域を愛する子 ○最後までがんばる子 ○進んで学ぶ子 ○力を合わせる子

めざす学校像

- ・児童が主体的に学び合い、わかる喜びを感じることができるとともに、自らに問いかけて行動する力を育て、だれもが楽しいと感じる学校。
- ・全教職員がそれぞれの持ち味(個性)を生かし、保護者・地域と力を合わせて、教育を推進する学校。

5 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 確かな学力の育成【学びプロジェクト】

- (1)自分の考えをもち、伝え合いながら学ぶ児童の育成。
- (2)Azo ノートや GIGA 端末を活用して家庭学習の充実を図るとともに、学びの基礎力となる生活習慣の向上を図る。

2 心の教育の充実【心プロジェクト】

- (1)阿曾流自問そうじを中心に「ねばり玉」「見つけ玉」「しんせつ玉」を磨くことを基盤とし、すべての教育活動で自問しながら活動することで、自ら考えて行動できる力を育てる。
- (2)「阿曾っ子のこれだけは(挨拶・言葉・靴そろえ・5分前行動)」のうち「言葉づかい」に重点を置いて取り組み、児童が落ち着いた学校生活を送ることができるようにする。
- (3)児童がお互いのよさやちがいを認め合い、間違いから学ぶことを大切することで、心理的安全性を高め、互いに協力し挑戦することができる集団作りを目指す。

3 連携協働する学校づくり【連携プロジェクト】

- (1)地域と連携し、阿曾の「ひと・もの・こと」と関わり、ふるさと愛を育む。
- (2)仲間と協力・工夫しながら自治的・自発的に活動し、生活をよりよくしようとする態度を養成する。
- (3)家庭と連携し、児童の生活習慣の向上を図る。
- (4)互いの気づきを大切に、それらを有効に生かし合いながら、職員間での支え合いや学び合い、高め合いができる職場づくりを進める。

6 そужья教育大綱を具現化するためのアクション

「総社を愛す子供」

教科や領域と関連したキャリア教育の中で総社や阿曾地区に関心を持ち、歴史や特色、地域の方の思いを知るなかで、地域への感謝への気持ちを持ち、総社や阿曾地区を愛し、誇りに思う児童を育成する。

1年:昔遊びを地域の方に教えていただき、感謝の気持ちを持つ。

2年:野菜作りを地域の方に教えていただき、感謝の気持ちを持つ。

学区探検を通して、阿曾地区の様子や人のことを学ぶ。

地域の高齢者施設で高齢者の方と交流することを通して、自己有用感を高める。

3年:市内の商店や工場、公共施設の見学を通して、総社市の様子を知る。

「ハッカプロジェクト」の取組や「昔のくらし」の学習、七輪体験、とんど祭りなどを通して、地域の方から歴史や知恵を学ぶ。

公民館活動に参加し、地域の方と交流することを通して、自己有用感を高める。

4年:クリーンセンター・消防署など地域の施設を見学することを通して、地域を守り支える人々の苦勞や願いを知る。

福祉教育を通して、様々な個性を尊重する意識を育て、自分には何ができるか考える。

5年:身近な環境について学び、環境を守るために自分たちにできる活動を行うことを通して、阿曾地区の豊かな自然環境を守ろうとする意識を育てる。

6年:総社や阿曾地区の史跡を見学したり、たたら等について調べたりする活動を通して、ふるさとのよさを再発見する。

全学年:活動後に支援してくださった方々に感謝の気持ちを伝えることを通して、地域の多くの方に育てられていることを感じることができるようになる。

地域の行事に参加したり、文化や歴史に触れたり地域の方々と交流したりすることを通して、ふるさとを大切にしようとする心情を育む。

「心優しい子供」

毎日の生活や様々な体験をしたりする中で、相手も自分も大切にしようとする児童を育成する。

1 子どもたちが互いのよいところを見つける活動を行う。

2 「特別の教科 道徳」の時間では、日常生活と結びつけて指導し、行動につながるようにする。

3 SELやピア・サポートの指導を計画的に行い、様々な個を認め合い、支え合う仲間づくりを進める。

4 自問掃除や日々の生活の中で、思いやりや感謝の気持ちを育むため「しんせつ玉」を磨くことを意識した指導を行う。

5 人権週間には、標語づくりや「なかよしの木」など、温かい心の交流が広がる取組を行う。

「礼儀正しい子供」

あいさつや返事、時と場に応じた正しい言葉遣い、人に接する心構えについて、学校全体で指導を行う。

1 朝礼や朝の会で「先言後礼」など、相手を尊重するあいさつや返事、場に応じた言葉遣いについて指導する。

2 儀式的行事の前には、礼儀や服装・態度についての指導を行う。

3 地域の方と接する活動の前には、正しい言葉遣いや適切な態度についての指導を行う。

4 友達や家族への言葉掛けについて互いに振り返り、よりよい人間関係を築くためのマナーやスキルを身に付けることができるようにする。

5 「見つけ玉」「しんせつ玉」を磨くことを意識して活動する中で、自分で考えて相手を大切にしたい場に応じた行動ができるようにする。